

令和2年11月定例会

# 気仙沼市教育委員会議案書

令和2年11月24日提出

## ○教育長一般事務報告

(令和2年11月24日提出)

| 番号 | 件名                     | 頁 | 備考 |
|----|------------------------|---|----|
| 1  | 令和2年宮城県教育功績者表彰について     | 1 |    |
| 2  | 令和2年宮城県永年勤続教職員表彰について   | 2 |    |
| 3  | 気仙沼ESD/RCE円卓会議2020について | 3 |    |

## ○その他

- ① 次回教育委員会定例会の開催について  
12月 日 ( ) 時 分 教育委員会会議室

## 令和2年宮城県教育功績者表彰について

### ○受賞者

学校教育功勞 熊谷利治氏（九条小学校長）

学校教育功勞 今野勝美氏（津谷中学校長）

### ○表彰式

日時 令和2年11月16日（月） 午後2時から

場所 宮城県庁 講堂

令和2年宮城県永年勤続教職員表彰について

表彰式 日 時 令和2年11月5日(木)午後2時30分から

場 所 仙台国際センター 大ホール(仙台市青葉区青葉山)

表彰者 令和2年10月31日現在、教職員で25年以上勤務した者(7名)

| 所 属   | 職名 | 氏 名     | 所 属    | 職名  | 氏 名       |
|-------|----|---------|--------|-----|-----------|
| 唐桑小学校 | 教諭 | 及 川 麗 子 | 唐桑小学校  | 事務長 | 吉 田 康 輝   |
| 中井小学校 | 教頭 | 常 山 桂 子 | 気仙沼中学校 | 教諭  | 力 根 千 津   |
| 松岩中学校 | 教諭 | 山 内 久 美 | 条南中学校  | 教諭  | 新 妻 久 範 夫 |
| 大谷中学校 | 教諭 | 内 海 靖 子 |        |     |           |

## 気仙沼ESD/RCE円卓会議2020について

- 1 日時 令和2年11月6日(金) 13:00~16:45
- 2 会場 気仙沼中央公民館 会議室 ※一部オンライン
- 3 主催 気仙沼市教育委員会, 宮城教育大学 ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム  
気仙沼 ESD/RCE 推進委員会
- 4 共催 東北地方 ESD 活動支援センター
- 5 参加対象 気仙沼市立幼・小・中学校教員, 市内高等学校教員, 大学・専門機関職員,  
行政担当者, 産業関連団体職員, 社会教育関係者,  
NGO/NPO 関連団体職員, ESD 推進関係者 (他地域含む)  
(当日参加者69名, 事務局8名:計77名)

### 6 目的・趣旨

「国連 ESD の 10 年」(2005~2014), 「グローバル・アクション・プログラム: GAP」(2015~2019)に続く新たな枠組として国連本部で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて重要な役割を果たす ESD は, 「ESD for 2030」として国際的にも一層強力に推進されようとしている。昨今の気候変動や海洋汚染, 人権侵害, 新型コロナウイルス感染拡大など, 地球規模で実際に起こっている数々の問題は, 私たちの生活と地域の将来に深刻な影響を及ぼし始めており, それらの解決・改善に向けた取組が, 国際・地域・個人の各レベルにおいて強く求められている。

東日本大震災を乗り越えながら, 15 年を超える ESD の取組を継続・発展させてきている気仙沼市においても, SDGs (国連持続可能な開発目標) の達成に向けて, 地域に根ざした具体的な行動に貢献する人材育成が重要である。新たな価値を生み出そうとしている他地域の実践に学びながら, 学校教育を超えた ESD として, 気仙沼に生きる子供たちの可能性を伸ばす「気仙沼 ESD」を再考し, 学校・地域が一体となった推進を目指したい。

キーワード: SDGs の達成に向けた「教育(E)の役割」「行政・地域(SD)の役割」  
「教育(E)と地域(SD)の融合・協働」「学校教育を超えた ESD」  
「人材育成」「地域貢献」

### 7 プログラム (※一部オンライン)

#### (1) 開会行事

開会のあいさつ 気仙沼市教育委員会 教育長 小山 淳

#### (2) あいさつ及び講話 (※オンライン)

演題 「ESD に関する国内外の進捗状況と今後の推進施策」

講師 文部科学省国際統括官付 国際統括官補佐 堀尾 多香 氏

#### (3) 講演

##### 講演①

演題 「SDGs が目指す社会とこれからの人材育成 ~E と SD の融合~」

講師 東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター 主幹研究員  
全国 ESD 活動支援センター 企画運営委員長 及川 幸彦 氏

##### 講演② (※オンライン)

演題 「地域・地球課題と向き合うホールシティによる ESD for SDGs」

講師 福岡県大牟田市教育委員会 教育長 安田 昌則 氏

(4) 気仙沼市内のSDGs実践事例発表

- 事例① 松岩中学校 教諭 熊谷 一貴 氏  
事例② 気仙沼商工会議所 会頭  
スローフード気仙沼 代表理事 菅原 昭彦 氏

(5) パネルディスカッション (※一部オンライン)

【テーマ】地域の課題を見つめ、地域資源を生かし、  
地域全体で進める『気仙沼 ESD for SDGs』

◇コーディネーター

宮城教育大学 名誉教授 小金澤孝昭 氏

◇パネラー

気仙沼商工会議所 会頭 菅原 昭彦 氏  
市震災復興・企画部 部長 小野寺憲一 氏  
鹿折公民館 館長 豊田 康裕 氏  
一般社団法人まるオフィス 代表理事 加藤 拓馬 氏  
気仙沼市教育委員会 教育長 小山 淳

◇指定討論者

大牟田市教育委員会 教育長 安田 昌則 氏 (※オンライン)  
富谷ユネスコ協会 会長 阿部 弘康 氏  
気仙沼ユネスコ協会 理事 佐藤由美子 氏  
NPO 法人森は海の恋人 副理事長 畠山 信 氏

《主な討議の柱》『地域全体で進める気仙沼 ESD for SDGs の方向性』

- キーワード：◇地域・国際課題の解決 ◇人材育成  
◇教育(E)の役割 ◇行政・地域(SD)の役割  
◇教育と地域の融合・協働 ◇学校教育を超えた ESD  
◇地域への参画・貢献

(6) 総括

日本ユネスコ国内委員会 委員 見上 一幸 氏 (※オンライン)

(7) 閉会行事

閉会のあいさつ

気仙沼 ESD/RCE 推進委員会 委員長 齋藤 益男

